

平成28年度 学校評議員による学校評価

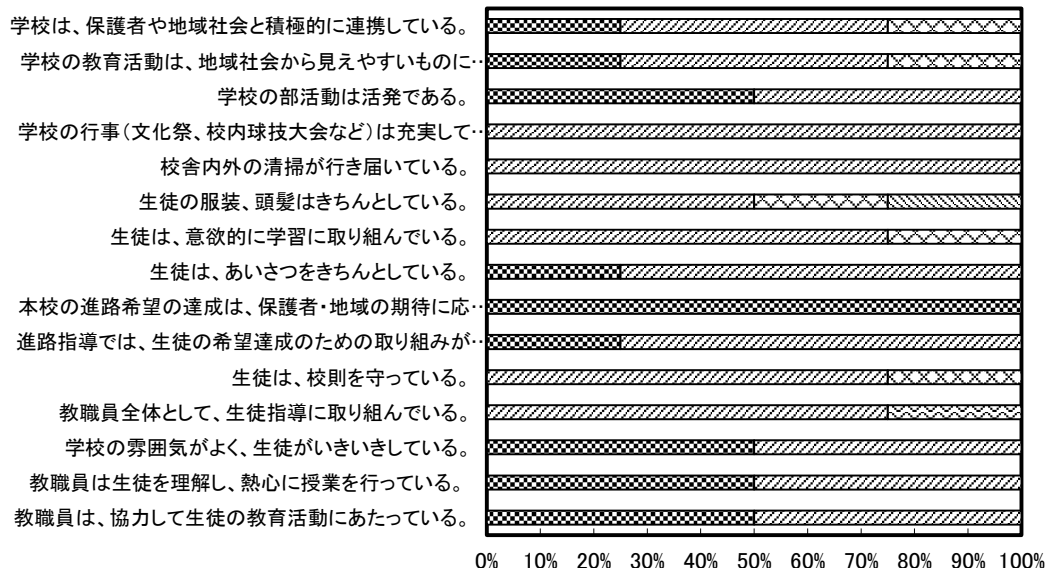
秋田県立男鹿工業高等学校

番号	項目	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
1	教職員は、協力して生徒の教育活動にあたっている。	2	2	0	0	0
2	教職員は生徒を理解し、熱心に授業を行っている。	2	2	0	0	0
3	学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきしている。	2	2	0	0	0
4	教職員全体として、生徒指導に取り組んでいる。	0	3	0	0	1
5	生徒は、校則を守っている。	0	3	1	0	0
6	進路指導では、生徒の希望達成のための取り組みが行われている。	1	3	0	0	0
7	本校の進路希望の達成は、保護者・地域の期待に応えている。	4	0	0	0	0
8	生徒は、あいさつをきちんとしている。	1	3	0	0	0
9	生徒は、意欲的に学習に取り組んでいる。	0	3	1	0	0
10	生徒の服装、頭髪はきちんとしている。	0	2	1	1	0
11	校舎内外の清掃が行き届いている。	0	4	0	0	0
12	学校の行事(文化祭、校内球技大会など)は充実している。	0	4	0	0	0
13	学校の部活動は活発である。	2	2	0	0	0
14	学校の教育活動は、地域社会から見えやすいものになっている。	1	2	1	0	0
15	学校は、保護者や地域社会と積極的に連携している。	1	2	1	0	0

集計結果

評価項目

そう思う 大体そう思う あまり思わない 思わない 分からない



学校評議員による意見

保護者、生徒、職員による評価結果に対する意見(抜粋)

1. 保護者による学校評価について

- ・回収率80%から、学校への関心の高さが窺われる。
- ・入学後の満足度から学校の取組が肯定されていると考えられる。
- ・全ての項目において十分と感じている人の割合が高いのは喜ばしい。
- ・「資格取得」については、生徒の意識改革や学校・保護者の連携が必要ではないか。

2. 教職員による学校評価について

- ・A+B<C、Dの項目は5項あり、5/21である。改善のための手立てを早急に用意するとともに、背景の分析が必要である。また、教職員にもこの事実についての改善点を考えてもらう必要がある。
- ・担当以外のことに対しては満足感が得られていないようだ。横の連携もまた大切なことではないか。

3. その他

- ・学校の方向性として、地域に根ざした教育を実践されていると思う。
- ・学校へ足を運ぶ度、元気に挨拶してくれる生徒達に好感が持てる。
- ・この数年間の進路決定100%は素晴らしいことだと感じる。
- ・「男鹿ならではの」、活動・取組があってもいいのではないか。